

RACING KART INFORMATION

2017年全日本カート選手権統一規則

[公示No.2017- K003]

2017年全日本カート選手権統一規則 OK、FS-125部門

本選手権競技会は、一般社団法人日本自動車連盟（以下「JAF」という）の公認のもとにFIA国際モータースポーツ競技規則/国際カート規則およびその付則に準拠したJAF国内競技規則/JAF国内カート競技規則およびその付則、2017年（以下「当該年」という。）日本カート選手権規定、本統一規則、および競技会特別規則に従って開催される。

第1章 競技会開催に関する事項

第1条 ～ 第4条（略）

第5条 競技の種類、区分と格式

1. 種目：スプリントレース
2. 区分：OK部門、FS-125部門
3. 格式：国内格式

第6条 ～ 第12条（略）

第13条 エントリーの資格

1. （略）
 2. ドライバーの出場資格：

全日本選手権競技に出場するドライバーは、部門毎に以下の条件を満たしていること。

ドライバーが出場できる地域および参加部門は何れかの地域ならびに部門に限定され、シリーズの途中で変更することはできない。

1) OK部門：

 - (1) 国際Bドライバーライセンス以上の所持者。
 - (2) 国際Cおよび国内Aドライバーライセンス所持者については、下記の何れかの実績を満たす者。
 - ①当該年の前年の全日本選手権のKF部門に出場した実績ある者。
 - ②過去の全日本選手権SuperKF部門、KF1部門あるいはKF部門で、年間総合順位が10位以内であった者。
 - ③当該年の前年の全日本選手権FS-125部門で、年間総合順位が10位以内の者。
 - ④JAFによって特に認められた者（海外での実績等）。
 - 2) ～ 3) （略）
3. （略）

第14条（略）

第15条 シャシー、エンジンおよびタイヤの登録

競技に使用するシャシー、エンジンおよびタイヤは、車両申告書に登録済みのもののみとする。登録できる個数は1競技会につき下記の通りとする。

	OK	FS-125
シャシー	2台	1台
エンジン	2基	1基
タイヤ	2セット(ドライ・ウエット)	1セット(ドライ・ウエット)

但し、タイヤについては1レースにつき1セットのみ使用可能とする（下表の通り）。公式練習は、登録していないタイヤを使用することができる。

OK		
公式練習		登録していないタイヤを使用することができる。
タイムトライアル		
第1レース	予選ヒート	1セット
	セカンドチャンスヒート	
	決勝ヒート	
第2レース	予選ヒート	1セット
	セカンドチャンスヒート	
	決勝ヒート	
FS-125		
公式練習		登録していないタイヤを使用することができる。
タイムトライアル		
予選ヒート		1セット
セカンドチャンスヒート		
決勝ヒート		

第3章 エンジンおよびカートに関する事項

第16条 エンジン

1. エンジン
 - 1) OK部門：

「JAF国内カート競技車両規則」および当該年の全日本選手権OK部門適用車両規定に合致したCIK-FIAまたはJAF公認エンジン。
 - 2) （略）
 3. 封印（マーキング）

封印（マーキング）が外れそう（消えそう）な状態になった場合は、事前に技術委員長に申し出ること。

封印（マーキング）に関する故意の違反があった場合には当該競技会は失格とする。

なお、違反の内容によっては当該年度の選手権の全得点を無効とする場合がある。

 - 1) OK部門
 - (1) 車検時においてエンジン（エンジン・クランクケース下部1/2およびシリンダー）のマーキングが実施される。
 - (2) 第1レースの公式練習開始時間前までは、技術委員長の承認のもとにエンジンの再登録またはエンジンへの再マーキングが認められる。
 - 2) （略）
4. （略）

第17条 カート

前条で規定する当該エンジンを搭載し、「JAF国内カート競技車両規則」に合致する第1種競技車両で、かつ次の条件を満たさなければならない。

1. シャシーは、以下の条件を満たすこと。また、車検時にお

いてシャシーにJAF指定の封印が実施される。但し、公式練習開始時間前までは、技術委員長承認のもとにシャシーの封印の解除、および再登録、再封印が認められる。

使用するシャシーは、CIK-FIA公認またはJAF公認を取得している製造者によって製造されたものとする。ただし、フロントブレーキの装着は禁止する。

2. (略)

3. ナンバープレートは前後に必備とする。その取り付け方および形状については「JAF国内カート競技車両規則」第9条1. および第28条による。側方のナンバーは最小高15cmとする。なお、前方にはフロントパネルを装着しなければならない。

ナンバープレートの色は次の通りとする。

部門	ナンバープレートの色	文字の色
OK	黄	黒
FS-125	黄	黒

4. ~7. (略)

8. 排気装置については「JAF国内カート競技車両規則」第22条による。

OK部門で使用するマフラーは、図21に合致した単一排気装置とする。

FS-125部門で使用するマフラーは、当該年の全日本カート選手権FS-125部門適用車両規定に示すものとする。

なお、登録するマフラーの公認書は参加者が用意すること。

9. (略)

10. 競技に使用するタイヤは次の条件に合致したものとする。OKおよびFS-125部門で使用するタイヤは、下記5)に定めるディストリビューション制とする。

1) 各部門に使用できるタイヤは次の通りとする。

(1) 銘柄、サイズ、コンパウンド

●OK部門：

①当該年に有効なCIK-FIA公認タイヤを製造している製造者によって製造されたタイヤとし、銘柄は自由。

②ドライとウエットの銘柄は同一とする。

③タイヤの銘柄は、当該ドライバーが当該年に最初に使用した銘柄に限定する。

④ドライバーは、予めエントリー申込書に使用するタイヤの銘柄を記入する。エントリー受付締め切り後の銘柄の変更は認められない。エントリー受付締め切り前の銘柄の変更はオーガナイザーが指定する所定の用紙にて行うことができる。

例) 銘柄とはBridgestone、Dunlop、Yokohama/Advan等を指す

●FS-125部門：

①JAFによって指定された単一製造者の当該年に有効なCIK-FIA公認タイヤを製造している国内タイヤ製造者のCIK公認タイヤを使用しなければならない。

・東/西地域：住友ゴム工業株式会社
<ドライ用>CIKオプション<ウエット用>CIK新

(2) セット数

全部門とも、ドライ、ウエット各1セットのみとする。但し、技術委員長承認のもとに、各1本のみの交換が認められる。

2) ~3) (略)

4) タイヤにはオーガナイザーが指定したゼッケン番号を技術委員によってタイヤの両側面に記入される。

文字の字体は幅3mm以上の字画で高さ30mm以上とする。

部門	色
OK	白
FS-125	桃

5) OK部門およびFS-125部門で使用するタイヤのディストリビューションは、特別規則書又は公式通知にて示される時間帯にオーガナイザーが指定した場所にて、競技会審査委員1名の立ち会いのもと次の要領で行うものとし、詳細事項は特別規則書又は公式通知に示す。

但し、ウエットタイヤおよび交換タイヤ1本は除外する。

(1) OK部門

①ドライバー(またはタイヤ製造者)は、エントリーの際に申告した当該競技会で使用する銘柄の未使用ドライタイヤ(例:パッケージ済)をオーガナイザーが指定した場所に預け入れ、受領書を受け取る(ドライバーに引き換え証を発行する)。

②オーガナイザーは、同一の銘柄、モデルおよびコンパウンド毎にシャッフルを行う。

③オーガナイザーは、提示されたタイヤの両側面にマーキングする。

④オーガナイザーは、受領書(引換証)と引き換えに当該ドライバー(またはタイヤ製造者)が預け入れた同一の銘柄、モデルおよびコンパウンドのタイヤ(両側面および接地面裏面マーキング済)を手渡す。

⑤タイヤのリムへの取り付けは、各自のパドックで行うこととする。

⑥分配されたタイヤをパドック外へ持ち出すことは認められない

(2) FS-125部門

(略)

11. ~13. (略)

第18条 ボディワーク

「JAF国内カート競技車両規則」第7条および第9条に従った、CIK-FIA公認(2006-2011、2009-2014、2012-2017、2015-2020)サイドボックス、フロントフェアリング、フロントパネル、リアプロテクションは、ステー等の公認部品を含み必備とする。

尚、異なる銘柄またはモデルの構成部品による3つのボディワークによる組み合わせが認められる。但し、2つのサイドボックスはセットで共に使用すること。

1. サイドボックスはシャシーに最少2ヶ所で強固に固定されなければならない。その取り付け方は、「JAF国内カート競技車両規則」に従うものとする。

2. 全ての部門の車両は、2015-2020のCIK-FIA公認フロントフェアリング取付キットの使用が義務付けられる。

3. (略)

第19条 重量

最低重量は次の通りとする。

部門	最低重量
OK	155kg
FS-125	155kg

最低重量を満たすためバラストを積む必要がある時はすべて固形材料を用いボルト・ナットで取付けなければならない。

第20条 ~ 第24条 (略)

第25条 選手権競技の方式

1. OK部門：

競技は2レース制(公式練習・タイムトライアル・第1レース予選1ヒート・第1レース決勝1ヒート→第2レース予選1ヒート・第2レース決勝1ヒート)とし、決勝ヒートの結果により最終順位を決定する。

出場台数によっては、予選ヒート終了後セカンドチャンスヒートを実施する。

2. FS-125部門：

(略)

第26条 予選ヒート

- 予選ヒートのグリッドポジション
 - ケースA：
タイムトライアルでグループ分けが無かった場合、各ドライバーが記録した最速タイムの順番による。
 - ケースB：
タイムトライアルでグループ分け（2組）があり、一方の組の最速タイムと別の組の最速タイムの差が102%を超えない場合、出走したグループに関わらず、各ドライバーが記録した最速タイムの順番による。
 - ケースC：
タイムトライアルでグループ分け（2組）があり、一方の組の最速タイムと別の組の最速タイムの差が102%を超える場合、1位は第1組の最速タイム（総合最速タイム）とし、2位は第2組の最速タイム、3位は第1組で2番目に速いタイム、4位は第2組で2番目に速いタイム、5位は第1組で3番目に速いタイム、以下同様に決定する。
 - ケースD：
更にタイムトライアルでのグループ分け（3組以上）があった場合、上記2）および3）の原則に従い、決定する。
- なお、OK部門においては、夫々の予選ヒートに上記が適用される。
- ～3.（略）
- 予選ヒートの走行距離は次の通りとし、周回数は競技会毎に示す。
 - OK部門：
15km（または15分）以上45km（45分）以内。
 - FS-125部門：
15km（または15分）以上30km（30分）以内。
- （略）

第27条（略）

第28条 決勝

- ～2.（略）
- 決勝ヒートの走行距離は次の通りとし、周回数は競技会毎に示す。
 - OK部門：
15km（または15分）以上45km（45分）以内。
 - FS-125部門：
15km（または15分）以上30km（30分）以内。
- 青・赤旗の採用
OK部門の決勝ヒートにのみ次の通り適用される。
 - 周回遅れのドライバーおよび周回遅れになろうとしているドライバーに対し、[青・赤旗（2重対角線で区分）] が示され、決勝ヒートから除外される。
 - 青・赤旗は競技長の指示によりコントロールライン上で示される。旗の提示を受けたドライバーは、その周回で車両保管場所（パルクフェルメ）に移動し、ラップされた周回のコントロールライン通過までで、レースを終了したものと

のとする。

車両保管場所（パルクフェルメ）に移動しない場合には、黒旗（当該ヒート失格）の対象となる。

第29条 スタート進行

- （略）
- （略）
 - 1）～4）（略）
 - 「1min」ボードが示される時点で、ピット要員は当該エリアから離れなければならない。FS-125部門では、「1min」ボードが示された時点からフォーメーションラップ開始時までの間であればいつでも、ドライバーはエンジンを始動することができる。
「1min」ボード提示後は、ピット要員による援助は一切認められない。
ただし、OK部門においては、フォーメーションラップ開始までに登録されたピット要員2名までの援助を認める。
 - 6）～8）（略）
 - ～12.（略）

第30条 その他競技に関する一般事項

- ～7.（略）
- 工具の持込みおよび工具を用いた修理等は、指定されたエリア（ピットおよびパドック）を除き、一切禁止される。
- ～17.（略）

第31条 ～ 第37条（略）

第6章 ペナルティに関する事項

第38条 ペナルティ

- ～7.（略）
- <ペナルティの例>
- ～(25)（略）
 - 公式練習およびタイムトライアルを除き、チェッカー後フィニッシュラインを通過したカートの前フェアリングが正しい装着状態でなかった場合
⇒タイムに10秒加算
 - フロントフェアリング装着に関する不正行為
⇒レース失格

第7章 抗議に関する事項

第39条 抗議の提出

- ～2.（略）
- 「JAF国内競技規則」10-20に従ってなされた審判員の判定、計時装置および音量測定結果、第38条(26)および(27)により課されたペナルティに対する抗議は認められない。
- （略）

以下（略）

2017年地方カート選手権統一規則

[公示No.2017-K004]

2017年地方カート選手権統一規則

FP-3、FS-125部門

本選手権競技会は、一般社団法人日本自動車連盟（以下「JAF」という）の公認のもとにFIA国際モータースポーツ競技規則／国際カート規則およびその付則に準拠したJAF国内競技規則／JAF国内カート競技規則およびその付則、2017年（以下「当該年」という。）日本カート選手権規定、本統一規則（FC-2部門は適用しない）、および競技会特別規則に従

て開催される。

第1章 競技会開催に関する事項

第1条 ～ 第12条（略）

第13条 エントリーの資格

- （略）
- ドライバーの出場資格：

地方選手権競技に出場するドライバーは、部門毎に以下の条件の何れかを満たしていること。

なお、1つの競技会における同一ドライバーの参加できる部門は、1部門のみとする。

- 1) 国内Bドライバーライセンス以上の所持者。
- 2) ジュニアAまたはジュニア国際ドライバーライセンス所持者(満13歳以上または当該年に満13歳になる者)で、下記の何れかの条件を満たす者。
 - (1) 当該年の前年のジュニア選手権競技会に出場した実績のある者。
 - (2) 参加申込時点において過去12か月以内にクローズド格式以上の競技に3回以上出場した実績(ライセンス取得後の実績)のある者。
- 3) 地域シリーズとして開催されるFP-3部門は、国内Bドライバーライセンス以上の所持者とする。

第14条 ~ 第15条 (略)

第3章 エンジンおよびカートに関する事項

第16条 エンジン

1. エンジン

1) FP-3部門:

「JAF国内カート競技車両規則」および当該年の地方選手権FP-3部門適用車両規定に合致したピストンバルブ方式のJAF公認エンジンとし、下記開催場所別にJAFが指定したワンメイクエンジンとする。

- ・東/西地域: ヤマハKT100SEC、
ヤマハKT100SD

2) FS-125部門:

「JAF国内カート競技車両規則」および当該年の地方選手権FS-125部門車両規定に合致したJAFまたはCIK-FIAに登録されたエンジンとし、下記開催場所別にJAFが指定したワンメイクエンジンとする。

- ・東/西地域: IAME PARILLA X30

2. ~4. (略)

第17条 カート

(略)

1. ~9. (略)

10. 競技に使用するタイヤは次の条件に合致したものとする。

JAFによって指定された単一製造者のJAF指定タイヤを使用しなければならない。

●FP-3部門:

- ・東/西地域: 株式会社ブリヂストン
<ドライ用>YNL <ウエット用>SL94

●FS-125部門:

- ・東/西地域: 住友ゴム工業株式会社
<ドライ用>SL9 <ウエット用>SLW2

(略)

11. ~13. (略)

第18条 ボディワーク

「JAF国内カート競技車両規則」第9条に従ったサイドボックス、フロントフェアリング、フロントパネルを必備とする。

「JAF国内カート競技車両規則」第7条3. および第9条に従った、CIK-FIA公認(2006-2011、2009-2014、2012-2017、2015-2020)サイドボックス、フロントフェアリング、フロントパネル、リアプロテクションは、ステー等の公認部品を含み必備とする。

尚、異なる銘柄またはモデルの構成部品による3つのボディワークによる組み合わせが認められる。但し、2つのサイドボックスはセットで共に使用すること。

1. サイドボックスはシャシーに最少2ヶ所で強固に固定されなければならない。その取り付け方は、「JAF国内カート競技車両規則」に従うものとする。
2. FP-3部門の車両は、CIK-FIA公認フロントフェアリングの取り付け方が義務付けられる。
3. FS-125部門の車両は、2015-2020のCIK-FIA公認フロントフェアリング取付キットの使用が義務付けられる。
4. リアプロテクションの取り付け方については「JAF国内カート競技車両規則」第7条による。

第19条~第29条 (略)

第30条 その他競技に関する一般事項

1. ~7. (略)
8. 工具の持込みおよび工具を用いた修理等は、指定されたエリア(ピットおよびパドック)を除き、一切禁止される。
9. ~17. (略)

第31条 ~ 第37条 (略)

第6章 ペナルティに関する事項

第38条 ペナルティ

1. ~7. (略)

<ペナルティの例>

(1) ~ (25) (略)

(26) 公式練習およびタイムトライアルを除き、チェッカー後フィニッシュラインを通過したカートのフロントフェアリングが正しい装着状態でなかった場合
⇒タイムに10秒加算

(27) フロントフェアリング装着に関する不正行為
⇒レース失格

第7章 抗議に関する事項

第39条 抗議の提出

1. ~2. (略)

3. 「JAF国内競技規則」10-20に従ってなされた審判員の判定、計時装置および音量測定結果、第38条(26)および(27)により課されたペナルティに対する抗議は認められない。
4. (略)

以下 (略)

2017年ジュニアカート選手権統一規則

[公示No.2017-K005]

2017年ジュニアカート選手権統一規則
FP-Jr、FP-Jr Cadets部門

本選手権競技会は、一般社団法人日本自動車連盟(以下「JAF」という)の公認のもとにFIA国際モータースポーツ競

技規則/国際カート規則およびその付則に準拠したJAF国内競技規則/JAF国内カート競技規則およびその付則、2017年(以下「当該年」という。)日本カート選手権規定、本統一規則、および競技会特別規則に従って開催される。

第1章 競技会開催に関する事項

第1条 ～ 第16条 (略)

第17条 カート (略)

1. ～9. (略)
10. 競技に使用するタイヤは次の条件に合致したものとす。
FP-Jr部門およびFP-JrCadets部門で使用するタイヤは、下記5)に定めるディストリビューション制とする。
 - 1) 各部門に使用できるタイヤは、JAFによって指定された単一製造者のJAF指定タイヤとし、次の通りとする。
 - FP-Jr部門：
 - ・東/西地域：ブリヂストン株式会社
 - <ドライ用>YNL <ウエット用>SL94
 - FP-JrCadets部門：
 - ・東/西地域：横浜ゴム株式会社
 - <ドライ用>SLJ <ウエット用>SL03
11. ～12. (略)

第18条 ボディワーク

1. FP-Jr部門：
「JAF国内カート競技車両規則」第9条に従った、CIK-FIA公認(2006-2011、2009-2014、2012-2017、2015-2020)サイドボックス、フロントフェアリング、フロントパネル、リアプロテクションは、ステー等の公認部品を含み必須とする。
尚、異なる銘柄またはモデルの構成部品による3つのボディワークによる組み合わせが認められる。但し、2つのサイドボックスはセットで共に使用すること。
2. FP-JrCadets部門：
「JAF国内カート競技車両規則」第9条に従ったサイドボックス、フロントフェアリング、フロントパネルを必備とし、かつ同第29条に従いJAFに申請されたものでなければならない。
尚、異なる銘柄またはモデルの構成部品による3つのボディワークによる組み合わせが認められる。但し、2つのサイドボックスはセットで共に使用すること。
また、同第7条に従ったリアプロテクションを必備とする。

3. サイドボックスはシャシーに最少2ヶ所で強固に固定されなければならない。その取り付け方は、「JAF国内カート競技車両規則」に従うものとする。
4. 全ての部門の車両は、2015-2020のCIK-FIA公認フロントフェアリング取付キットの使用が義務付けられる。
5. リアプロテクションの取り付け方については「JAF国内カート競技車両規則」第7条による。

第19条～ 第29条 (略)

第30条 その他競技に関する一般事項

1. ～7. (略)
8. 工具の持込みおよび工具を用いた修理等は、指定されたエリア(ピットおよびパドック)を除き、一切禁止される。
9. ～17. (略)

第31条 ～ 第37条 (略)

第6章 ペナルティに関する事項

第38条 ペナルティ

1. ～7. (略)
- <ペナルティの例>
- (1) ～ (25) (略)
 - (26) 公式練習およびタイムトライアルを除き、チェッカー後フィニッシュラインを通過したカートのフロントフェアリングが正しい装着状態でなかった場合
⇒タイムに10秒加算
 - (27) フロントフェアリング装着に関する不正行為
⇒レース失格

第7章 抗議に関する事項

第39条 抗議の提出

1. ～2. (略)
3. 「JAF国内競技規則」10-20に従ってなされた審判員の判定、計時装置および音量測定結果、第38条(26)および(27)により課されたペナルティに対する抗議は認められない。
4. (略)

以下(略)

カートライセンス発給規定の一部改正について

[公示No.2017- K006]

第1条～第5条 (略)

第6条 ドライバーライセンスの年齢別発給

- ライセンスの種別により次の通り発給年齢を区分する。
ライセンスの発給申請を行う際には、年齢(生年月日)を証明できる公的機関が発行する書類を提示すること。
1. ジュニアBライセンスは、10歳(10歳の誕生日を迎える当該年)から15歳未満の者に発給する。
 2. ジュニアAライセンスは、12歳(12歳の誕生日を迎える

- 当該年)から満15歳未満の者に発給する。
3. ジュニア国際ライセンスは、12歳(12歳の誕生日を迎える当該年)から15歳未満の者に発給する。
 4. カート国際A、B、Cライセンスおよびカート国内A、Bライセンスは、15歳(15歳の誕生日を迎える当該年)以上の者に発給する。

第7条～第25条 (略)

以上

JAF指定カートタイヤについて

[公示No.2017- K007]

2017年1月時点のJAF指定カートタイヤについて、下記の通りお知らせいたします。

1. 適用クラスおよび銘柄

クラス	銘柄	製造者	クラス	銘柄	製造者	
FA-2	・SL07 (ドライ)	(株)ブリヂストン	FP-Jr Cadets	・SL83 (ドライ)	住友ゴム工業(株) (株)ブリヂストン 横浜ゴム(株)	
	・SL6 (ドライ)	住友ゴム工業(株)		・SLFD (ドライ)	住友ゴム工業(株)	
	・SL9 (ドライ)	住友ゴム工業(株)		・SLJ (ドライ)	住友ゴム工業(株)	
	・AAE (SL07) (ドライ)	横浜ゴム(株)		・AAJ (SLJ) (ドライ)	横浜ゴム(株)	
	・(MOJO) D2 (ドライ)	Reifenwerk Heidenau GmbH & Co KG		・(MOJO) D2 (ドライ)	Reifenwerk Heidenau GmbH & Co KG	
	・SL03 (ウエット)	横浜ゴム(株)		・SL03 (ウエット)	横浜ゴム(株)	
	・SL94 (ウエット)	(株)ブリヂストン		・SL94 (ウエット)	(株)ブリヂストン	
	・(MOJO) W2 (ウエット)	Reifenwerk Heidenau GmbH & Co KG		・SL98 (ドライ&ウエット)	住友ゴム工業(株)	
・SLW2 (ウエット)	住友ゴム工業(株)	・(MOJO) W2 (ウエット)		Reifenwerk Heidenau GmbH & Co KG		
FR-2	・SL07 (ドライ)	(株)ブリヂストン		FP-2	・SL07 (ドライ)	(株)ブリヂストン
	・SL6 (ドライ)	住友ゴム工業(株)	・SL6 (ドライ)		住友ゴム工業(株)	
	・SL9 (ドライ)	住友ゴム工業(株)	・SL9 (ドライ)		住友ゴム工業(株)	
	・AAE (SL07) (ドライ)	横浜ゴム(株)	・SLFD (ドライ)		住友ゴム工業(株)	
	・(MOJO) D2 (ドライ)	Reifenwerk Heidenau GmbH & Co KG	・AAE (SL07) (ドライ)		横浜ゴム(株)	
	・SL03 (ウエット)	横浜ゴム(株)	・(MOJO) D2 (ドライ)		Reifenwerk Heidenau GmbH & Co KG	
	・SL94 (ウエット)	(株)ブリヂストン	・SL03 (ウエット)		横浜ゴム(株)	
	・(MOJO) W2 (ウエット)	Reifenwerk Heidenau GmbH & Co KG	・SL94 (ウエット)		(株)ブリヂストン	
・SLW2 (ウエット)	住友ゴム工業(株)	・(MOJO) W2 (ウエット)	Reifenwerk Heidenau GmbH & Co KG			
FP-Jr	・SL07 (ドライ)	(株)ブリヂストン	FP-3		・SL07 (ドライ)	(株)ブリヂストン
	・SL9 (ドライ)	住友ゴム工業(株)		・SL6 (ドライ)	住友ゴム工業(株)	
	・SL83 (ドライ)	(株)ブリヂストン 横浜ゴム(株)		・SL9 (ドライ)	住友ゴム工業(株)	
	・SLFD (ドライ)	住友ゴム工業(株)		・SL83 (ドライ)	住友ゴム工業(株) (株)ブリヂストン 横浜ゴム(株)	
	・SLJ (ドライ)	住友ゴム工業(株)			・SLFD (ドライ)	住友ゴム工業(株)
	・AAE (SL07) (ドライ)	横浜ゴム(株)			・AAE (SL07) (ドライ)	横浜ゴム(株)
	・(MOJO) D2 (ドライ)	Reifenwerk Heidenau GmbH & Co KG			・(MOJO) D2 (ドライ)	Reifenwerk Heidenau GmbH & Co KG
	・SL94 (ウエット)	(株)ブリヂストン			・SL03 (ウエット)	横浜ゴム(株)
	・SL03 (ウエット)	横浜ゴム(株)			・SL94 (ウエット)	(株)ブリヂストン
	・(MOJO) W2 (ウエット)	Reifenwerk Heidenau GmbH & Co KG			・SL98 (ドライ&ウエット)	住友ゴム工業(株)
・SLW2 (ウエット)	住友ゴム工業(株)	・(MOJO) W2 (ウエット)	Reifenwerk Heidenau GmbH & Co KG			
・YNC (ドライ)	(株)ブリヂストン	・SLW2 (ウエット)	住友ゴム工業(株)			
・YNL (ドライ)	(株)ブリヂストン	・YNC (ドライ)	(株)ブリヂストン			
FS-125	・YNC (ドライ)	(株)ブリヂストン	・YNL (ドライ)	(株)ブリヂストン		

2. 諸元表
住友ゴム工業株式会社

銘柄	適用	サイズ	JAF指定No.
・SL83	FRONT	10 x 3.60 - 5	JAF-001
	REAR	11 x 6.00 - 5	
・SL98	FRONT	10 x 4.50 - 5	JAF-007
	REAR	11 x 6.50 - 5	
・SL6	FRONT	10 x 4.50 - 5	JAF-015
	REAR	11 x 7.10 - 5	
・SL9	FRONT	10 x 4.50 - 5	JAF-017
	REAR	11 x 7.10 - 5	

銘柄	適用	サイズ	JAF指定No.
・SLFD	FRONT	10 x 4.50 - 5	JAF-022
	REAR	11 x 6.00 - 5	
・SLJ	FRONT	10 x 3.60 - 5	JAF-023
	REAR	11 x 5.00 - 5	
・SLW2	FRONT	10 x 4.50 - 5	JAF-024
	REAR	11 x 6.50 - 5	

(株)ブリヂストン

銘柄	適用	サイズ	JAF指定No.
・SL83	FRONT	3.6 / 10.0 - 5	JAF-004
	REAR	6.0 / 11.0 - 5	
・SL94	FRONT	4.0 / 10.0 - 5	JAF-006
	REAR	6.0 / 11.0 - 5	
・SL07	FRONT	4.5 / 10.0 - 5	JAF-016
	REAR	7.1 / 11.0 - 5	

銘柄	適用	サイズ	JAF指定No.
・YNC	FRONT	4.5 / 10.0 - 5	JAF-025
	REAR	7.1 / 11.0 - 5	
・YNL	FRONT	4.5 / 10.0 - 5	JAF-026
	REAR	7.1 / 11.0 - 5	

横浜ゴム株式会社

銘柄	適用	サイズ	JAF指定No.
・SL83	FRONT	3.6 x 10.0 - 5	JAF-008
	REAR	6.0 x 11.0 - 5	
・SL03	FRONT	4.0 x 10.0 - 5	JAF-014
	REAR	6.0 x 11.0 - 5	

銘柄	適用	サイズ	JAF指定No.
・AAE (SL07)	FRONT	4.5 x 10.0 - 5	JAF-020
	REAR	7.1 x 11.0 - 5	
・AAJ (SLJ)	FRONT	3.6 x 10.0 - 5	JAF-021
	REAR	5.0 x 11.0 - 5	

Reifenwerk Heidenau GmbH & Co KG

銘柄	適用	サイズ	JAF指定No.
・(MOJO) D2	FRONT	4.5 / 10.0 - 5	JAF-018
	REAR	7.1 / 11.0 - 5	

銘柄	適用	サイズ	JAF指定No.
・(MOJO) W2	FRONT	4.5 / 10.0 - 5	JAF-019
	REAR	6.0 / 11.0 - 5	

3. 留意事項

オーガナイザーは、競技会のクラス毎に製造者を限定し、競技会特別規則書に記載して下さい。

以上

2017年全日本カート選手権、ジュニアカート選手権カレンダーの一部変更について

[公示No.2017- K008]

2016年11月30日開催の世界モータースポーツ評議会で決定された2017年F I A国際選手権カレンダーの発表を受け、全日本カート選手権、ジュニアカート選手権カレンダー（公示No.2016-K014）について、開催日程が一部変更となりましたのでお知らせいたします。

・変更箇所

2017年全日本カート選手権カレンダー／

2017年ジュニアカート選手権カレンダー

・・・2017年全日本カート選手権OK部門 第9/10戦

2017年全日本カート選手権FS-125部門 東西統一競技会

2017年ジュニアカート選手権FP-Jr部門 東西統一競技会

2017年ジュニアカート選手権FP-Jr Cadets部門 東西統一競技会

開催日程の変更：11月4日～5日 → 10月28日～29日

JAFカートカレンダー (1~4月)

格式A-国際/B-準国際/C-国内/D-準国内/E-制限付

●太字は全日本選手権、世界選手権、国際競技及びそれに準ずる競技会・下線付き細字は地方選手権
●このカレンダーは12月16日までに本部にて受付したものです。

2(FEB)

開催日	競技会名	オーガナイザー/電話番号	格式	競技車両	開催場所
2月 26日	2017 HARUNACUP KARTRACE Rd1	HMSL(0279-54-8199)	D E	FS-125 FS-125	榛名モータースポーツランド

3(MARCH)

3月 4日 ~5日	2017年鈴鹿選手権シリーズ カートレース第1戦 KART RACE IN SUZUKA	SMSC(059-378-3405)	D E	FS-125 KZリブレ	鈴鹿サーキット国際南コース
4日 ~5日	2017 WAKO'S スーパーカートVICIC地方選手権 岡山国際サーキットシリーズ第1戦	VICIC(0465-83-4703)	D D	FC-2リブレ FC-2リブレ	岡山国際サーキット
12日	2017年CarXS本庄カートシリーズ第1戦	SPH(0495-72-9611)	D D D	OK FS-125 FP-Jr,FP-JrCadets	本庄サーキット
12日	2017 APG CHALLENGE 第1戦	APG(0550-88-8246)	D E	FS-125 KZリブレ	オートバラダイス御殿場 小山町大御神サーキット
18日 ~19日	2017 WAKO'S スーパーカートVICIC地方選手権 筑波サーキットシリーズ第1戦	VICIC(0465-83-4703)	D D	FC-2リブレ FC-2リブレ	筑波サーキット
25日 ~26日	2017年全日本カート選手権FS-125部門西地域第1戦 2017年地方カート選手権FP-3部門/FS-125部門 西地域第1戦 2017年ジュニアカート選手権FP-Jr部門/FP-JrCadets部門西地域第1戦	BSL(077-598-2888)	C D D	FS-125 FP-3,FS-125 FP-Jr,FP-JrCadets	琵琶湖スポーツランド
26日	2017 もてぎカートレース第1戦	株式会社モビリティランド (0285-64-0200)	D	FS-125	ツインリンクもてぎ北ショートコース

4(APRIL)

4月 2日	2017 TOYOTA SLカートミーティング SUGOカートレースシリーズ第1戦	SSC(0224-83-3116)	E	FS-125	スポーツランドSUGO西コース
2日	2017 ROTAX MAX CHALLENGE SERIES Rd1	フェスティカサーキット (0282-25-1500)	D E	FS-125 FS-125	フェスティカサーキット瑞浪
22日 ~23日	2017年全日本カート選手権OK部門第1・2戦 2017年全日本カート選手権FS-125部門東地域第1戦 2017年地方カート選手権FP-3部門/FS-125部門 東地域第1戦 2017年ジュニアカート選手権FP-Jr部門/FP-JrCadets部門東地域第1戦	SSC(0224-83-3116)	C C D D	OK FS-125 FP-3,FS-125 FP-Jr,FP-JrCadets	スポーツランドSUGO西コース
22日 ~23日	2017 WAKO'S スーパーカートVICIC地方選手権 岡山国際サーキットシリーズ第2戦	VICIC(0465-83-4703)	D D	FC-2リブレ FC-2リブレ	岡山国際サーキット
29日 ~30日	2017年鈴鹿選手権シリーズ カートレース第2戦 KART RACE IN SUZUKA	SMSC(059-378-3405)	D E	FS-125 KZリブレ	鈴鹿サーキット国際南コース
30日	2017 もてぎカートレース第2戦	株式会社モビリティランド (0285-64-0200)	D	FS-125	ツインリンクもてぎ北ショートコース
30日	2017年CarXS本庄カートシリーズ第2戦	SPH(0495-72-9611)	D D	OK FS-125	本庄サーキット

1月に開催される競技会はありません。